



高浜市未来を創る市民会議 からの提言

～総合計画の目標達成に向けての
改善アイデア～



平成24年9月24日

目 次

提言書の提出によせて・・・	・・・P.1
---------------	--------

各分科会からの提言

(1) 自治推進分科会

目標(1) 市民とともに歩む経営を行います ・・・P.2

目標(3) 市民と行政が信頼関係を深め、ともにまちづくりを行います ・・・P.6

(2) 財政分科会

目標(2) 次世代のために、健全な財政運営を行います ・・・P.4

(3) 生涯学習分科会

目標(4) 学びを通して人づくりを進め、夢と希望につなげます ・・・P.8

目標(6) 人のつながりやぬくもりの中で、子育て・子育てを支えます ・・・P.12

(4) 学校教育分科会

目標(5) 心たくましく健やかに育つ教育環境をつくります ・・・P.10

(5) 産業・観光分科会

目標(7) まちの成長を支えるエンジンとして、産業を元気にします ・・・P.14

目標(8) 地域に根ざした新たなビジネスの芽を育みます ・・・P.16

(6) 環境・憩い分科会

目標(9) みんなでまちをきれいにします ・・・P.18

目標(11) 自然豊かな魅力あふれる憩いの場を守り、育てます ・・・P.22

(7) 防犯・防災分科会

目標(10) ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくります ・・・P.20

目標(12) 安全・安心が実感できる基盤づくりを進めます ・・・P.24

(8) 地域福祉分科会

目標(13) 一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます ・・・P.26

(9) 健康分科会

目標(14) 一人ひとりの元気と健康づくりを応援します ・・・P.28

参考資料

高浜市の未来を創る市民会議 第2期 これまでのあしあと	・・・P.30
-----------------------------	---------



私たちの愛するまち高浜市を、未来へとつなげていくために・・・。

平成23年4月に、「自治基本条例」と「第6次高浜市総合計画」を両輪とする新たなまちづくりがスタートしました。

将来都市像「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」の実現を目指して、「絵に描いた餅にならないように、生きた総合計画にしていこう！」

「目標達成に向けて、みんなで考え、みんなで行動していこう！」を合言葉に生まれた「高浜市の未来を創る市民会議」も今年度が2期目となりました。

平成24年度の上半期は、新たなメンバーも加わった総勢150人が、分科会活動を中心に平成23年度の実績を検証し、目標に向かってきちんと取り組みの効果が表れているか、目標の達成状況や「みんなで目指すまちづくり指標」の点検・確認作業をおこなってきました。

この冊子は、その点検・確認作業を経て、目標達成のために「もっとこんな取り組みを進めたらどうだろう？」「この工夫が必要だと思う！」という市民目線からのアイデアをまとめた「高浜市の未来を創る市民会議」からの提言書です。

来年度は、第6次高浜市総合計画基本計画（前期）の区切りの年に当たります。これまでの市民会議での話し合いや実践を含め、この提言内容が、今後の方向性を踏まえて、今年度のアクションプランに活かされ、あるいは来年度の事業に組み込まれることで、目標達成に向けてより大きく前進していけることを期待しています。



自治推進分科会からの提言

目標（１） 市民とともに歩む経営を行います

1. 目標達成に向けての具体的なアイデア

アイデアの内容 (こんな取り組みを進めたらどう?)	アイデアの理由・背景 (どうしてこの取り組みが必要だと思うのか)
<p>◆まちづくりのキャッチフレーズ「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を広げよう！</p> <p><まずはここから取り組もう！></p> <ul style="list-style-type: none"> ①のぼり旗を作って、地域や行政のイベントで活用しよう ②市から発信するメールに、ロゴを入れよう ③回覧板に表示しよう ④市役所の全ての封筒に表示しよう ⑤公共施設などに表示しよう ⑥広報・HPの表示を目立つようにしよう ⑦統一したロゴ・ステッカーを作ろう ⑧地域の会合やイベントの配布資料に表示しよう ⑨地域のイベントで、大家族たかはまを広めよう <p><他にも…></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の名刺に、ロゴを入れよう ・ロゴの入ったユニフォームを作ろう ・地域でもオリジナルPR品を作ろう ・イベントや名物の名称に「大家族たかはま」を冠として付けよう ・大たぬきに大家族たかはま T シャツやタスキなどを着せよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・高浜市の“共同経営者”であるという意識を持った市民を増やし、市民と行政がともに市の経営を行っていくためには、<u>目指すまちの姿を共通認識する必要がある。</u> ・そのため、目指すまちの姿をシンボリックに示した「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」の認知度を高めていきたい。 ・これまで、会議等のあいさつなどにおいて、キャッチフレーズを広げる取り組みを進めていたが、口頭での周知には限界があり、<u>目で見える形でのPRが必要。</u>

2. 自治推進分科会のあしあと

日程	内容	備考
6月26日(火)	・総合計画の目標達成に向けて、「どんな考え方で」、「どんな姿を目指して」、「どんな取り組みを進めてきたのか」を共有しよう！	
7月23日(月)	・キャッチフレーズ「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を広げる方法を考えよう！ ～アイデア出し～	
8月24日(金)	・キャッチフレーズを広げるアイデアをまとめよう！ ～アイデアの実現性を検討～	
9月18日(火)	・提言書(案)の最終チェック ・発表方法を考えよう！	



▲大家族たかはま看板

「大家族たかはま」をテーマに、まちづくり紹介 DVD を作ってはどうか？

まずは、ロゴを作ろう！

ステッカーを作ったら、いろんなものに貼ってPRできるね。



▲アイデア出しの様子 (7月23日分科会)



▲封筒に印刷(地域政策 G で使用)

行政からの配布物全てに、キャッチフレーズを入れよう！

行政だけでなく、地域も会合やイベントでPRしよう！



▲地域のイベントでPR (二池町 外淵公園まつり)

大家族たかはまコンテストの作品をシンポジウムで展示してはどうか？

PR品を作って、市内の行事やイベントで宣伝しよう！



▲地域のイベントでPR (田戸町 川まつり)



▲広報紙に印刷(南部まち協)

公共施設へのキャッチフレーズの表示は欠かせないよね。



▲大家族たかはまTシャツ



▲レガッタで着用(ギンズ)

高浜の特産品「瓦」を使ったPR品も作りたいね。



▲公共施設に表示(南部ふれあいプラザ)

財政分科会からの提言

目標（２） 次世代のために、健全な財政運営を行います

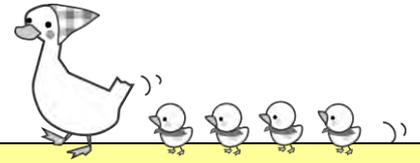
1. 目標達成に向けての具体的なアイデア

アイデアの内容 (こんな取り組みを進めたらどう?)	アイデアの理由・背景 (どうしてこの取り組みが必要だと思うのか)
<p>【より多くの市民のみなさんに財政状況に関心を持ってもらおう!】</p> <p>①もっと身近に「財政」を感じてもらえるように、子どもから大人まで楽しめるゲームを作ろう!</p> <p>ex.わかりやすい予算書がヒント集となるような計算ドリルならぬ「財政ドリル」、「クロスワード」、「高浜市人生ゲーム」など)</p>	<p>①市民意識調査では特に若年層の市の財政状況に対する関心度(率)が低かったが、これからの高浜を担う子どもたちにも「財政」について興味を持ってもらうことも必要である。子どもを通じて親子でもゲーム感覚で楽しく「財政」を考え、互いに理解を深めることで、子どもも大人も、より市の財政に関心を持つ、または持ち続けることができるよね。</p>
<p>②目を引く『財政の情報』を継続的に(シリーズ化して)発信しよう!</p> <p>ex. 産業天気図を参考にした、誰もが分かるような財政天気予報(図)や高浜市と〇〇が似てる世界の都市と比較しよう。</p>	<p>②これまでの取り組みでは興味・関心を持てなかった人たちに向けて、身近な話題などからめたインパクトある財政情報を発信してはどうだろう。</p>
<p>③市の財政が閲覧できるタッチパネルを公民館や子育て施設などに設置し、訪れた人が自由に閲覧できるようにしよう!</p>	<p>③「ここに来れば財政について学べる」という場所を設置することで、誰でも、いつでも、財政について学ぶことができるよね。</p>
<p>④まちの財政が見える化しよう!</p> <p>ex.標高サインのように公共施設などに建設費用などを明示する。</p>	<p>④まち中を歩いたり、公共施設などを利用した際に、自然と財政に関する情報が市民の目に入り、意識できるようになれば、財政に対する関心度も上がるかも。</p>
<p>【行政運営を効率化しよう!】</p> <p>⑤効率化できた事例の発表をしよう!</p>	<p>⑤効率化できた事例を市民会議や広報などを通じて発表し、機運を高めると同時に市民にがんばっている姿が見える化して欲しい。</p>
<p>⑥目標管理をコスト削減で示そう!</p>	<p>⑥時間外の削減のみから行政運営の効率化を判断するのではなく、効率化しコストがどれくらい減ったのかを判断材料とした方がわかりやすい。</p>



たくさんの
アイデアが
でたね!

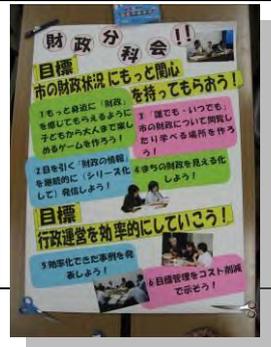
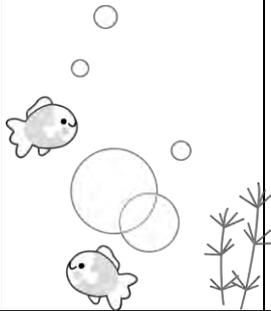
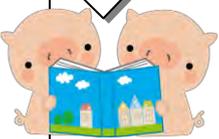
2. 財政分科会のあしあと



日程	内容										
6月26日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 説明シート「総合計画の目標達成に向けて、「どんな考え方で」、「どんな姿を目指して」、「どんな取り組みを進めてきたのか」を共有しよう！」に基づき、職員がメンバーのみなさんに説明。 										
7月23日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ★「点検・確認作業①」スタート！ ・「施策評価（内部評価）」の結果を「第6次高浜市総合計画基本計画（前期）施策評価シート」に基づき、職員がメンバーのみなさんに説明。 ・「点検・確認作業」はグループに分けて行うことに決定！テーマは、「①定住自立圏構想推進事業」と「②行政運営の効率化事業」。 ※理由…これまで議論がされてこなかった。新たな視点を見出すため。etc ・2つのグループで、アクションプランの改善、新たなアクションプランに向けた検討をスタート！ 										
8月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ★「点検・確認作業②」 <table border="1" data-bbox="416 887 1476 1395"> <tr> <td data-bbox="416 887 507 1160">第1グループ</td> <td data-bbox="507 887 837 1160">  </td> <td data-bbox="837 887 1476 1160"> <ul style="list-style-type: none"> ①定住自立圏構想推進事業 事前にメンバーから意見聴取。具体的な意見は・・・今のままでも問題はないけれど・・・ ・スポーツ分野でもネットワークの強化（公共施設の相互利用 etc）ができるといいよね！ ・衣浦定住自立圏の4市の文化を活用したイベントやスポーツ大会はできないかな？ <p style="text-align: right;">➡ 結果は『現行どおり』</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 1160 507 1395">第2グループ</td> <td data-bbox="507 1160 837 1395">  </td> <td data-bbox="837 1160 1476 1395"> <ul style="list-style-type: none"> ②行政運営の効率化事業 ・コスト管理をして職員の意識改革をしてみてもどう？ ・市民目線で効率の悪い業務は目標を決めて管理してはどう？ ・自分の力のできる業務・できない業務を理解しよう！ ・2S（整理整頓）も効率化には大切！？ <p style="text-align: right;">➡ 結果は『目標管理について見直しが必要』</p> </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ★「わかりやすい財政運営事業」の「点検・確認作業」 ～市の財政に興味を持ち続けてもらうためには・・・～ 【提言にならなかった素敵な提案】 <table border="1" data-bbox="416 1547 1476 1794"> <tr> <td data-bbox="416 1547 938 1675"> <ul style="list-style-type: none"> 市民一人ひとりの取組が市の財政の健全化につながるんだよ！という事例をいろいろ周知していくと市民の意識も変わるよね！ </td> <td data-bbox="938 1547 1476 1675"> <ul style="list-style-type: none"> 道路や学校がどんなお金でできているのか、そのお金は誰が払っているのか…身近なことから興味をもてるよね！ </td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 1675 938 1794"> <ul style="list-style-type: none"> 新しく転入してくる方に、「わかりやすい予算書」などを配布し、最初に高浜市の財政について知ってもらってはどうか！ </td> <td data-bbox="938 1675 1476 1794"> <ul style="list-style-type: none"> 財政の勉強は子どものころから！…学んだ子どもが親になり、その子どもへと受け継いでいく、そんな教育もありかな？ </td> </tr> </table>	第1グループ		<ul style="list-style-type: none"> ①定住自立圏構想推進事業 事前にメンバーから意見聴取。具体的な意見は・・・今のままでも問題はないけれど・・・ ・スポーツ分野でもネットワークの強化（公共施設の相互利用 etc）ができるといいよね！ ・衣浦定住自立圏の4市の文化を活用したイベントやスポーツ大会はできないかな？ <p style="text-align: right;">➡ 結果は『現行どおり』</p>	第2グループ		<ul style="list-style-type: none"> ②行政運営の効率化事業 ・コスト管理をして職員の意識改革をしてみてもどう？ ・市民目線で効率の悪い業務は目標を決めて管理してはどう？ ・自分の力のできる業務・できない業務を理解しよう！ ・2S（整理整頓）も効率化には大切！？ <p style="text-align: right;">➡ 結果は『目標管理について見直しが必要』</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人ひとりの取組が市の財政の健全化につながるんだよ！という事例をいろいろ周知していくと市民の意識も変わるよね！ 	<ul style="list-style-type: none"> 道路や学校がどんなお金でできているのか、そのお金は誰が払っているのか…身近なことから興味をもてるよね！ 	<ul style="list-style-type: none"> 新しく転入してくる方に、「わかりやすい予算書」などを配布し、最初に高浜市の財政について知ってもらってはどうか！ 	<ul style="list-style-type: none"> 財政の勉強は子どものころから！…学んだ子どもが親になり、その子どもへと受け継いでいく、そんな教育もありかな？
第1グループ		<ul style="list-style-type: none"> ①定住自立圏構想推進事業 事前にメンバーから意見聴取。具体的な意見は・・・今のままでも問題はないけれど・・・ ・スポーツ分野でもネットワークの強化（公共施設の相互利用 etc）ができるといいよね！ ・衣浦定住自立圏の4市の文化を活用したイベントやスポーツ大会はできないかな？ <p style="text-align: right;">➡ 結果は『現行どおり』</p>									
第2グループ		<ul style="list-style-type: none"> ②行政運営の効率化事業 ・コスト管理をして職員の意識改革をしてみてもどう？ ・市民目線で効率の悪い業務は目標を決めて管理してはどう？ ・自分の力のできる業務・できない業務を理解しよう！ ・2S（整理整頓）も効率化には大切！？ <p style="text-align: right;">➡ 結果は『目標管理について見直しが必要』</p>									
<ul style="list-style-type: none"> 市民一人ひとりの取組が市の財政の健全化につながるんだよ！という事例をいろいろ周知していくと市民の意識も変わるよね！ 	<ul style="list-style-type: none"> 道路や学校がどんなお金でできているのか、そのお金は誰が払っているのか…身近なことから興味をもてるよね！ 										
<ul style="list-style-type: none"> 新しく転入してくる方に、「わかりやすい予算書」などを配布し、最初に高浜市の財政について知ってもらってはどうか！ 	<ul style="list-style-type: none"> 財政の勉強は子どものころから！…学んだ子どもが親になり、その子どもへと受け継いでいく、そんな教育もありかな？ 										
9月14日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ★メンバーみんなで「提言シート」と「模造紙（発表用）」を完成！発表者も決定しました！ 										



アクションプランの点検・検証もしっかり考えたね！



自治推進分科会からの提言

目標（3） 市民と行政が信頼関係を深め、ともにまちづくりを行います

1. 目標達成に向けての具体的なアイデア

アイデアの内容 (こんな取り組みを進めたらどう?)	アイデアの理由・背景 (どうしてこの取り組みが必要だと思うのか)
<p>◆「高浜市自治基本条例 子ども向け副読本」を活用した出前授業に出かけよう！</p> <p>と、その前に…授業方法のアイデアを考えよう！</p> <p>【授業の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★副読本を親子で読んで、地域について考え、地域活動に関心を持ってもらうために… ⇒ワークシート欄の記入を事前の宿題にしよう。 (保護者にも記入してもらう) ★子どもたちに、積極的に授業を受けてもらうために… ⇒子どもたちの宿題の答えを引き出しながら、授業を展開しよう。 ★興味を持って聞いてもらうために… ⇒地域に依じて、4つのテーマ(安全・安心、環境、まちの自慢、ふれあい)から身近なテーマにポイントを絞って、子どもたちにとって身近に感じられる、地域の人が説明しよう。 ★活動をより深く知ってもらうために… ⇒プロジェクターを利用して、実際の活動写真を上映しよう。 <p>【今後の出前授業の展開】</p> <p>H24…モデル校にて、出前授業を実施。 H25…全小学校にて、出前授業を実施。 H26以降…全小学校にて、人材バンクに登録した学習支援ボランティアによる授業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★出前授業に出かけるサポーターも集めよう。 <p>※詳細については、教育委員会と調整・検討していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治基本条例の精神を広げ、地域活動やまちづくりに参画する人を増やしていく必要がある。 ・次世代を担う子どもたちに、子どもの頃から地域に関心を持ってもらい、また、子どもを通じて、大人(保護者)にも関心を持ってもらうことで、<u>地域活動に参加するきっかけとしたい。</u> ・副読本を、学校や家庭で活用することで、<u>子どもから大人(保護者、教員)まで、自治基本条例の精神を伝えることができる。</u> ・子どもたちに興味を持ってもらうためには、身近な人が身近な話をすると良い。
<p>◆地域で副読本を活用しよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副読本をまち協などに配布・設置して、地域でも活用できるようにしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での出前授業では、時間に制限があり、深い内容まで触れることが難しいため、地域でそれぞれ副読本を活用していきたい。

2. 自治推進分科会のあしあと

日程	内容	備考
6月26日（火）	・ 総合計画の目標達成に向けて、「どんな考え方で」、「どんな姿を目指して」、「どんな取り組みを進めてきたのか」を共有しよう！	
7月23日（月）	・ 「高浜市自治基本条例 子ども向け副読本」を活用した、効果的な出前授業の方法を考えよう！ ～授業の全体的なイメージを検討～	
8月24日（金）	・ 出前授業の進め方を考えよう！ ～授業の具体的な進め方を検討～	
9月18日（火）	・ 提言書（案）の最終チェック ・ 発表方法を考えよう！ ・ 出前授業の進め方を考えよう！②	

授業イメージ

宿題を基に…





▲桜の木の植樹

▲桜の里親会

▲大山緑地の様子

大山緑地にある“千本桜”として有名なたくさんの桜を、ずっと残していきたいと、地域の人が里親になって、桜の木の植樹や手入れ、公園の清掃などを行っています。みんなでまちの自慢を守っていきましょう。



みんなでまちを良くしていこう！って、こういう活動を続けていくことがまちづくりです。高浜市には「高浜市自治基本条例」というまちづくりのルールがあって、“子どもも大人も、みんなで協力してまちづくりをしよう”ということが書いてあります。みんなには「たかほま大好き」になって、出来ることから取り組んでほしいです。



生涯学習分科会からの提言

目標（４） 学びを通して人づくりを進め、夢と希望につなげます

1. 目標達成に向けての具体的なアイデア

アイデアの内容 (こんな取り組みを進めたらどう?)	アイデアの理由・背景 (どうしてこの取り組みが必要だと思うのか)
<p>《段階を踏んで、生涯学習のネットワークを構築していこう！》</p> <p>STEP 1 生涯学習の取り組みを調査し、 「現状の見える化」を行おう！</p> <ul style="list-style-type: none">各地域、各団体などでさまざまな取り組みが実施されているが、まずは、市内でどのような取り組みが行われているかを広く調べてみてはどうか。(例えば、ジャンル別、対象別、地域別、生涯学習の段階別など) →どんな取り組みが活発に行われているか(あまり行われていないか)がわかり、改善・対策に向けたアクションにつながっていくのでは？情報収集にあたっては、行政の全部署(それぞれの部署でおつきあいのある市民団体等も含む)はもちろん、市民会議メンバー150人にも呼びかけ、掘り起こしをしていったら、かなり多くの情報が集まるんじゃないかな？地域の達人(いろいろと知識や技能などを持った人)を探し出して、達人の一覧表を作成してはどうか。 →「高浜市には素晴らしい達人がいる」ということを知るだけでも、子どもたちの夢や希望が育まれていくんじゃないかな？ <p>STEP 2 調査した内容を取りまとめ、情報発信しよう！</p> <ul style="list-style-type: none">各地域、各団体などで行われている取り組みについて情報発信・情報共有することで、お互いの取り組みのさらなる充実が期待できるのでは？市広報紙やたんぼぼニュースなどで、達人の紹介記事を掲載し、チェーンネット形式で“達人の輪”を広げてはどうか？(チェーンネット：紹介された達人が次の達人を紹介することで、紹介の記事を継続させる。) <p>STEP 3 「教える人」と「教えてもらう人」との結び付けを考えよう！</p> <ul style="list-style-type: none">達人がいても活躍の場がなければ意味がない。達人を必要としている団体などから「求人広告」のようなリストを作成しては？子どもの側(教えてもらう側)からも、教えてほしい先生を求めるコーナーがあってもよいのでは？達人が活躍できる場のセッティングも必要になってくるのでは？	<ul style="list-style-type: none">自らが学んだ成果を自分の中にとどめておくのではなく、誰かに教えたり、社会の中で活かしたりすることができるようになると、もっと人と人との結びつき(地域の結びつき)が強くなるんじゃないか？こうした「まなび」の輪を広げていくことで、まちづくり指標「高浜市に愛着や誇りを持っている人」や「将来の夢を持っている人」の割合が増えていくんじゃないか？

2. 生涯学習分科会のあしあと

日程	内容	備考
6月26日(火)	総合計画の目標達成に向けて、「どんな考え方で」、「どんな姿を目指して」、「どんな取り組みを進めてきたのか」を共有しよう！	
7月23日(月)	総合計画の目標達成に向けたこれまでの取り組みについて現状を把握しよう！ ・「生涯学習プロデュース・ネット」の構築に向けた意見交換をしよう！	
8月21日(火)	総合計画の目標達成に向けてアイデアを出し合おう！ ・「生涯学習プロデュース・ネット」の構築に向けたアイデアをみんなで発表し、意見や思いを出し合おう！	
9月11日(火)	生涯学習分科会からの提言書を作成しよう！ ・職員メンバーが作成した提言書の叩き台をもとに、提言書の作成をしよう！ ・発表者、発表の方法について考えよう！	



アイデア発表のようす
(8月21日)

☆若いメンバーも活躍中！



現状の見える化

- ・どんな講座・教室がどんな人たちによって行われているか、情報収集から始めよう！
- ・情報を充実させて、相関図や一覧表をつくってはどうか。

情報発信

- ・広報やたんぽぽニュースを使って、達人の輪を広げていこう！
- ・映像で達人を紹介したら、どうかな？
(YouTube, KATCH, ホームページなど)

教える人・ 教えてもらう人 の結び付け

- ・達人を必要としている団体から求人広告のようなかたちでリストを作ってみてはどうか？
- ・大人と子どもが一緒に取り組めるような事業があるといいね！



学校教育分科会からの提言

目標（５） 心たくましく健やかに育つ教育環境をつくります

1. 目標達成に向けての具体的なアイデア

アイデアの内容 (こんな取り組みを進めたらどう?)	アイデアの理由・背景 (どうしてこの取り組みが必要だと思うのか)
<p data-bbox="268 566 1342 696">生活科や総合的な学習の時間、行事などに地域の方と一緒に活動することによって、「毎日が楽しい」「勉強に積極的に取り組む」子どもたち、「地域行事やボランティア活動に参加・参画する」子どもたちを増やしていきたい……。</p> <p data-bbox="754 741 932 775">そのために……</p> <p data-bbox="165 817 858 900">1 まずは、市民や地域が関わる学校授業・行事を「見える化」していこう！</p> <ul data-bbox="165 913 943 1458" style="list-style-type: none">・ 年間を通してどんなことが行われているか、また、学校が市民や地域からどんな力を借りたいのか情報を集め、全体像が見えるようにし、もっと発信していったらどう？→ 広報、クチコミ、メールマガジンなど、様々な方法で&機会あるごとに発信し続けていくことによって、「ちょっと足を運んでみよう」、「これくらいなら私も協力できるかも……」といった行動につながっていくんじゃないかな？→ 各学校から集めた情報は、「生涯学習プロデュースネット」の方へも提供し、お互いに情報を共有し、活用していきたいね！ <p data-bbox="165 1543 920 1579">2 学校の想いと地域の想いをマッチングさせていこう！</p> <ul data-bbox="165 1592 943 2089" style="list-style-type: none">・ 学校の「こんな人材・企画を求めている」という声と、市民・地域の「こんなことが協力できるよ」という声を、調整・コーディネートする仕組み・機能があるといいね。→ 子どもたちに、「地域の方からこんな話を聞いてみたい」、「こんなことを教わってみたい」「こんなことに挑戦してみたい」といったリクエストを聞いて、興味・関心を持てる授業や行事の企画を立ててみては？→ 「土曜授業」（地域の人と一緒に学ぼう&体験しようデー）なんていうのもいいんじゃない？ 子どもだけでなく、大人も受講者として参加できるといいね！	<p data-bbox="1161 696 1390 752">アクションプランNo.20に関連(No.16・No.19も)</p> <ul data-bbox="979 817 1476 1912" style="list-style-type: none">・ 保護者以外の人には、学校を拠点に行われている行事等のことが、案外知られていない。・ 学校は地域の核。行事等をきっかけに、住民と住民の顔がつながりあうようにしていきたい。・ “役員が終わったらおしまい”ではなく、継続して活動する人を増やしていきたい。そのためにも“関わりたい”と思える魅力・楽しさを伝えていくようにしたい。・ 学校の授業時間、子どもたちの活動時間は限られている。地域では子ども向けの様々な企画を実施してくれているが、学校側のニーズ・意向が必ずしも伝わっていかかったり、地域の想いが学校に伝わっていないこともある。

2. 学校教育分科会のあしあと



日程	内容	備考
6月26日(火)	総合計画の目標達成に向けて、「どんな考え方で」、「どんな姿を目指して」、「どんな取り組みを進めてきたのか」を共有しよう!	高浜市役所で開催
7月20日(金)	総合計画の目標達成に向けたこれまでの取り組みについて現状を把握しよう! ・「高浜市教育基本構想」の中味を詳しく知ろう! ・分科会の今後の進め方について ・「施策評価シート」の説明	高浜ふれあいプラザで開催
8月20日(月)	総合計画の目標達成に向けて、アイデアを出し合おう! ワークショップ方式で、① 現状把握 → ② 目標・夢・希望 → ③ 課題・カベ → ④ 対策・解決手段・方法を抽出	翼ふれあいプラザで開催
9月14日(金)	学校教育分科会としての提言(案)をまとめよう! ① 提言書(案)をまとめよう ② 発表方法・役割分担を考えよう	吉浜ふれあいプラザで開催

地域には、〇〇自慢の方がたくさんいる。分野別にそういった方を把握できたらいいな

子どもが受ける授業、この人の強みを知りたい。学校のニーズが地域に反映。地域が積極的に取り組める協力関係

各学校の特徴的な取り組みを保護者だけでなく、市民にも広く知ってもらうために... 広報等で写真を交えて紹介してはどうか?

吉浜の菊づくり、高取、翼の米づくり、港の焼物作り、他校児童の体験、子どもたちに受け継がれる。豊かさが育つ。



土曜授業、ふいかつ!! (子どもだけでなく、大人も参加可)



高浜「ポリアンサ」、大人が自分の子だ、じゃなく、地域の子といふ。子どもも、風土が、できるといいね!

学校のニーズと地域のニーズがミスマッチ!? うまく交通整理ができないかな?



子供達が教える側となる。行事があると積極的に、なると良いと思う。

市内全域で運動会、他地域の方との交流、充実

学校が、子どもからお年寄りまで、あらゆる世代がつながり合う場になっていったらいいね・・・!



生涯学習分科会からの提言

目標（6） 人のつながりやぬくもりの中で、子育て・子育てを支えます

1. 目標達成に向けての具体的なアイデア

アイデアの内容 (こんな取り組みを進めたらどう?)	アイデアの理由・背景 (どうしてこの取り組みが必要だと思うのか)
<p>《「たかはま子ども市民憲章」の想いを浸透させよう!》</p> <div data-bbox="207 593 670 761" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>子どもって・・・大人って・・・ お互いをよく知り、 理解を深め合おう!</p> </div> <p>1 絵本(※)を活用して、 市民に「たかはま子ども市民憲章」を広めよう! (例えば・・・) ☆人の目につく形で貼り出そう! (絵本は手に取ってもらう必要があるが、 貼り出せば読まれるチャンスが増える!)</p> <p>2 イベントを活用して「たかはま子ども市民憲章」の 想いを知ってもらおう! (例えば・・・) ☆子どもが親や祖父母と参加するイベント(新規・ 既存)において「たかはま子ども市民憲章」の PRをしよう! (自分の子や孫と触れ合う活動に参加する子ども への関心がある大人に対してPRすることで、 地域の子どもへの意識拡大が期待できる!)</p> <p>3 笑顔の写真展(既存事業)をより充実しよう! (例えば・・・) ☆子どもによる大人の撮影やご近所同士等の部門 の設定をしよう!(部門を設定することで自然と それに合わせた形でのコミュニケーションが図 られる。) ☆展示場所を増やそう! (写真が多くの人目に触れることで写真展の 意図をPRする機会が増え、写真展への写真 応募へのきっかけ作りにもなる。)</p>	<p>・ 第6次総合計画における目標 (6)の達成度を図る指標「子どもとふれあう行事に参加した ことがある人の割合」の向上を 目指そう!</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>・ まずは大人の意識を子どもに向 ける、大人と子どもが向き合う 意識を、お互いに高めることが 必要ではないか?</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>・ 子どもと大人がお互いを尊重 し、理解を深め、地域を支えあ っていくことを目的に制定され た「たかはま子ども市民憲章」 を用いて、その理念が浸透する 仕掛けを実施しよう!</p> <p>(※) 絵本って何 たかはま子ども市民憲章を 分かりやすく伝えるために 子ども向け、大人向けに 各々作成した絵本です。 (こども向け)</p> <div data-bbox="1069 1680 1324 1859" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1053 1904 1340 2105" style="text-align: center;"> </div>

2. 生涯学習分科会のあしあと



日程	内容	備考
6月26日(火)	総合計画の目標達成に向けて、「どんな考え方で」、「どんな姿を目指して」、「どんな取り組みを進めてきたのか」を共有しよう！	
7月23日(月)	総合計画の目標達成に向けたこれまでの取り組みについて現状を把握しよう！ ・子どもと大人と一緒に取り組める事業はどういったものが考えられるかについて、意見交換をしよう！	
8月21日(火)	総合計画の目標達成に向けてアイデアを出し合おう！ ・子どもと大人と一緒に取り組める事業はどういったものが考えられるかについてのアイデアを発表し、意見や思いを出し合おう！	
9月11日(火)	生涯学習分科会からの提言書を作成しよう！ ・職員メンバーが作成した提言書の叩き台をもとに、提言書の作成をしよう！ ・発表者、発表の方法について考えよう！	



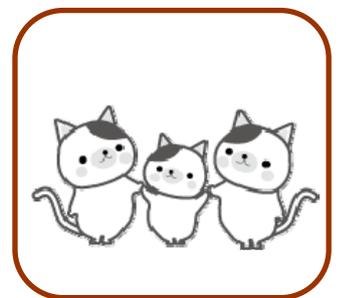
意見交換のようす

7月23日分科会

絵本は読みやすいから、すぐに頭に入るかも・・・。



親と子どもで競い合えるイベントがしたいな。



笑顔の写真展は、親子だけじゃなくて、家族とか団体の部門があってもいいよね！



産業・観光分科会からの提言

目標（7） まちの成長を支えるエンジンとして、産業を元気にします

1. 目標達成に向けての具体的なアイデア

アイデアの内容 (こんな取り組みを進めたらどう?)	アイデアの理由・背景 (どうしてこの取り組みが必要だと思うのか)
<p>1 特産品の開発についてのアイデア</p> <p>アクションプラン No.33 農業経営安定推進事業</p> <ol style="list-style-type: none">① 産直での販売をもっとホームページや広報でPRしたほうが良い。② 市内の飲食店や「まちの料理自慢」の協力を得て、特産品のおいしい食べ方を発信していったらどうか。そこから話題の味が生まれれば、特産品としてメジャーデビューできるかも。③ 季節や収穫の時期とあわせて、PRのためのタイムスケジュールが必要。特産品（特産野菜）開発プロジェクトの活動のお披露目も兼ね、タイミングの合う市内イベントの中で試食会やアイデア募集などをおこない、反応を見ながら、話題をつくるようなかたちからスタートさせては？④ 特産野菜が確定したら、将来的には、作る人を広く募集すると良い。	<p>★高浜市の特産物を発掘する目的で平成23年度に「特産物開発プロジェクト」が立ち上がっている。特産野菜候補として8種類の農産物(青茄子・インゲン豆・丹波の枝豆・アピオス・砂糖大根・黒豆・レモングラス・ミニ野菜)を選定し、「たかはま野菜」として売り出すことを検討中。</p> <p>特産品を育むには、色々な人に味を知ってもらったり、アイデアを求めていく必要がある。例えば、「カフェ&ベーカリー ふるふる」など地域に密着した飲食店で、たかはま野菜を使用した料理を提供すれば話題となるし、食べた人の直接の声を生産者が知ることができるのではないかと。</p> <p>また「美味しくその土地ならではのものを食べてみたい人は多いはずなので、市内のイベントで試食会などをおこない、広く反応を見るのはどうか。加工品のアイデアにも発展していくかもしれない。</p>
<p>2 三州瓦の販路拡大についてのアイデア</p> <p>アクションプラン No.35 中小企業振興推進事業</p> <ol style="list-style-type: none">① 以前、北海道で鬼師の実演をおこなったところ非常に人気だった。鬼師の作業場など既存の施設で実演が見られるようにし、そこに来訪者を案内するような運用の組織を整えては？② 鬼師の実演等を市内外の人の集まる場所で実施して、これまで以上に積極的に三州瓦の伝統とブランドを強くアピール。	<p>住宅屋根材の瓦離れがある中で、実演は販路拡大に向けてのPRにかなり有効な手立てと思われる。また、実演する場を設けることによって三州瓦の伝統継承にもつながるので、次のことが考えられるのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 三州瓦の伝統を守る上で、鬼師の実演は動く広告になるし、技術の継承にもつながる。・ 屋根瓦（和瓦、平板瓦など）の実演（商品の展示、パンフレットと併せて）も販路拡大には有効では。・ 各鬼師の工房で実演が見られるとか、その場で購入ができるようなシステムがあれば立ち寄る人も増え、販路拡大にもつながるのでは。

2. 産業・観光分科会のあしあと

日程	内容	備考
6月26日(火)	総合計画の目標達成に向けて、「どんな考え方で」、「どんな姿を目指して」、「どんな取り組みを進めてきたのか」を共有しよう!	
7月27日(金)	7/12の推進会議の報告、「目標達成に向けての具体的なアイデア」を出し合おう	
8月20日(月)	アイデアを提言書シートにまとめよう	
9月10日(月)	提言書シートの最終確認と高浜特産野菜(候補)の青茄子試食会!	



青茄子は、産直に出してみたけれど、調理方法がわからないのか、今のところあまり人気がないのよネ・・・。(生産者の友子さん)

ネット上や有名デパートでも取り扱われている青茄子。全体がきれいな緑色です

ナスづくしの試食会！
トロッとやわらかくておいしいのです。食べ方を知れば人気もでるはず・・・



早速メンバーが試食会の様子をフェイスブックにアップしたところ、刺激を受けた女性が、翌日、青茄子メニューをアップ!「どこで売ってるの?」の声も寄せられました。こうやってメニューのアイデアや話題が広まっていくのが我が分科会の狙いなのです!



我を忘れて食べ続けるメンバー……。いえいえ真剣に話し合いながらです!



産業・観光分科会からの提言

目標（８） 地域に根ざした新たなビジネスの芽を育みます

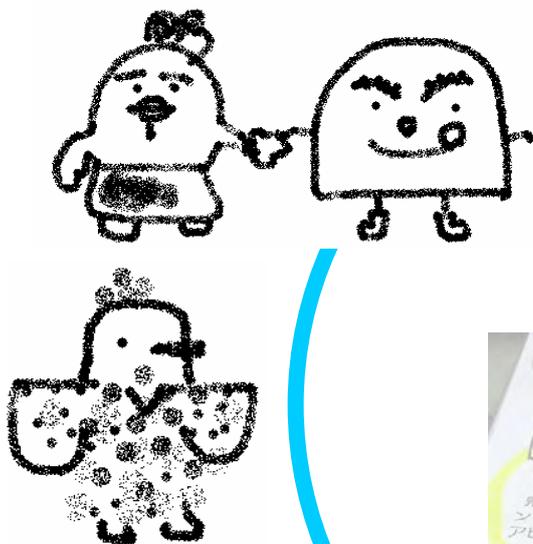
1. 目標達成に向けての具体的なアイデア

アイデアの内容 (こんな取り組みを進めたらどう?)	アイデアの理由・背景 (どうしてこの取り組みが必要だと思うのか)
<p>1 <u>コミュニティ・ビジネスの起業支援策についてのアイデア</u></p> <p>アクションプランNo.38 コミュニティ・ビジネス創出・支援事業</p> <p>・コミュニティ・ビジネスを起業するときに、財政状況は厳しいと思うが、新たなビジネス創出に対して、運営資金等の支援策を考えたらどうか。</p>	<p>産業・観光分科会では、昨年、コミュニティ・ビジネスの創出に向け、プラン、アイデア等を検討した。しかし、そもそもコミュニティ・ビジネスとは何かという認知度が低いということを実感し、まずは周知、そして関心のある人を集めることから始めるべきと考えた。市では、先進事例の視察やセミナーを開催し、セミナーは今年度も引き続き行われている。立上にかかる資金面で支援があれば、例えばそこで学んだ受講生が起業に向けて一歩を踏み出す大きなきっかけとなると思う。</p>
<p>2 <u>新たな観光資源の発掘についてのアイデア</u></p> <p>アクションプランNo.39 観光推進事業</p> <p>・ 瓦、鬼瓦、鬼師、とりめし・・・つなげて広めるPR！新しい観光資源の発掘も必要だが、まずは既存のものをつなげ、積極的に紹介することで相乗効果が生まれるはず！</p>	<p>高浜市の観光資源は多いとは言えないし、単独では弱い。発掘する必要もあるが、今ある資源を見つめ直し、一見、つながりがないように思われるものでも、つなげていくことでシナジー効果(相乗効果)を期待する。</p>

2. 産業・観光分科会のあしあと

日程	内容	備考
6月26日(火)	総合計画の目標達成に向けて、「どんな考え方で」、「どんな姿を目指して」、「どんな取り組みを進めてきたのか」を共有しよう!	
7月27日(金)	7/12の推進会議の報告、「目標達成に向けての具体的なアイデア」を出し合おう	
8月20日(月)	アイデアを提言書シートにまとめよう	
9月10日(月)	提言書シートの最終確認と高浜特産野菜(候補)の青茄子試食会!	

まちの「自慢」がタッグを組めば
もっとパワーアップするかも



瓦製の器に「とりめし」
とか・・・



特産野菜の瓦焼き
とか・・・



業種も年齢も異なる分科会メンバーの結論「高浜市の自慢が総リンクしたらいいね!」



若手市民メンバー鈴木さん、岩崎さんが発表のためのまとめや模造紙作成に底力を発揮しました!



環境・憩い分科会からの提言

目標（9） みんなでまちをきれいにします

1. 目標達成に向けての具体的なアイデア

アイデアの内容 (こんな取り組みを進めたらどう?)	アイデアの理由・背景 (どうしてこの取り組みが必要だと思うのか)
<p>(自助) ごみの問題はマナーの問題</p> <p>1 マナー向上作戦を実施しよう!</p> <ul style="list-style-type: none">・マナー向上のために子どもたちの力を借りよう(1) 学校で分別収集を実施しよう(2) 子どもが大人を教育できるような環境学習を実施しよう	<p>大人のマナーを向上させる一番有効な方法は、本人の子どもや孫から指摘されることである。</p>
<p>(共助) 地域みんなでごみ減量</p> <p>2 分別収集作戦を実施しよう!</p> <ul style="list-style-type: none">・みんなで分別方法を学ぼう(1) 分別 Q&A をつくろう(2) 町内会の皆さんをエコハウスに呼ぼう(3) 市民一斉清掃に参加しよう	<ul style="list-style-type: none">・地域の住人各々が学びあい、協力しあいながらごみを減量していく。・環境美化は一人で行うと苦痛であるが、みんなで行うと楽しいイベントにすることができる。
<p>(公助・協働) ルール違反はみんなで監視</p> <p>3 ルール違反に粘り強く対応しよう!</p> <ul style="list-style-type: none">・不法投棄撲滅作戦を実施しよう(1) 不法投棄情報を公開してみんなに実態を知ってもらおう(2) 不法投棄現場を重点監視地域に指定しよう(3) 不法投棄を無くす実験を行おう	<p>市内全域の不法投棄を監視することは難しい。特に不法投棄が悪質な現場について、重点的に監視を行い、不法投棄を無くすにはどのような方法が効果的かを検証していく。</p>

2. 環境・憩い分科会のあしあと



日程	内容	備考
6月26日(火)	総合計画の目標達成に向けて、「どんな考え方で」、「どんな姿を目指して」、「どんな取り組みを進めてきたのか」を共有しよう!	
7月25日(水)	不法投棄の現状と埋立地についての勉強会を行った。	
8月29日(水)	各メンバーがそれぞれの提言案を発表した。	
9月18日(火)	提言と発表の確認	



不法投棄の実際を、写真を見ながら話し合い



ゴミ問題に対しての話題は尽きません



例えば、高取公民館の納涼夏祭のように、地域イベントでも地道にゴミ分別の啓発活動ができるはず



エコハウスでも分科会を開催しました

防犯・防災分科会からの提言

目標（10） ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくります。

1. 目標達成に向けての具体的なアイデア

アイデアの内容 (こんな取り組みを進めたらどう?)	アイデアの理由・背景 (どうしてこの取り組みが必要だと思うのか)
<p>ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくるには・・・</p> <p>①昼間に青パトで地域を巡回する際、道路標示や道路標識の不良箇所の情報を早期に行政に提供する。</p> <p>②高浜市の玄関口として、現在工事中の衣浦大橋交差点の立体橋の桁色の選定について市民の皆さんの意見を聞き、桁色を決定する。</p>	<p>・最近、横断歩道や外側線などが消えている道路を見かける。地域の住民が発見したら早く行政に伝える必要がある。</p> <p>・シンボル道路をつくったり、記念植樹を行うなど、都市空間づくりに市民も参加・参画できる機会が増えていくと、まちへの愛着が生まれたり、長く住みたいと思う人が増えていくんじゃないかな。 (総合計画「市民会議の声」から)</p>



2. 防犯・防災分科会のあしあと

日程	内容	備考
6月26日(火)	総合計画の目標達成に向けて、「どんな考え方で」、「どんな姿を目指して」、「どんな取り組みを進めてきたのか」を共有しよう!	
8月2日(木)	基本計画(前期)施策評価シートを基に、これまでの取り組みと成果、課題と今後の取り組みの方向性などを検討しました。	
8月20日(月)	アイデアを出し合い、提案シート(案)の検討をしました。	
9月11日(火)	アイデアを検討し、最終的な提案シートを策定しました。	



環境・憩い分科会からの提言

目標（11） 自然豊かな魅力あふれる憩いの場を守り、育てます

1. 目標達成に向けての具体的なアイデア

アイデアの内容 (こんな取り組みを進めたらどう?)	アイデアの理由・背景 (どうしてこの取り組みが必要だと思うのか)
<p>1 身近な憩いの場を大切にしよう！</p> <p>(1) 「自分たちが憩える場所」「自分たちの公園」を守り育むという意識を広めよう。</p> <p>(2) 皆が「憩い」「集う」場所は、いつも清潔で、緑や花もあることが望ましい。ゴミ投棄問題対策も絡め、地域の美化活動の力を発揮しよう。</p> <p>(3) 個性的な景観づくりを模索するなど、自分たちの手で地域の特性やニーズに合わせた憩いの空間を作り育もう。</p>	<p>この目標において「憩いの場」とは市内のあらゆる環境を視野にいれている。</p> <p>高浜市には海もあり、川や田畑の織りなす風景もある。地域での課題解決・魅力創造のための美化活動も盛んである。自然環境を活かしたり、皆が集い・憩う風景をつくりあげて、まちの自慢としたい。</p>

2. 環境・憩い分科会のあしあと

日程	内容	備考
6月26日（火）	総合計画の目標達成に向けて、「どんな考え方で」、「どんな姿を目指して」、「どんな取り組みを進めてきたのか」を共有しよう！	
7月25日（水）	不法投棄の現状と埋立地についての勉強会を行った。	
8月29日（水）	各メンバーがそれぞれの提言案を発表した。	
9月18日（火）	提言と発表の確認	

身近な憩いの場は
自分たちの手で
創り上げていけるよね！



防犯・防災分科会からの提言

目標（12） 安全・安心が実感できる基盤づくりを進めます

1. 目標達成に向けての具体的なアイデア

アイデアの内容 (こんな取り組みを進めたらどう?)	アイデアの理由・背景 (どうしてこの取り組みが必要だと思うのか)
<p>「防犯意識」が向上して安心・安全を感じながら暮らすためには・・・</p> <p>①家庭、地域、学校、職場で「あいさつ運動」を展開する。 小学校の通学路に「あいさつ通り」を設置する。</p> <p>②より効果が上がる「こども110番」活動を目指し、関係者による打合せや講習会などを開催する。</p>	<p>・あいさつは防犯の第一歩、実践できるかが大切である。</p> <p>・あいさつができる人は、犯罪を起こさない。</p> <p>・「こども110番」の主体が、まち協や防犯協会などで、ばらばらの対応となっている。</p>
<p>「防災意識」が向上して安心・安全を感じながら暮らすためには・・・</p> <p>③標高サインの表示を希望するコンビニ、医療機関など、不特定の方が利用する施設に標高サインを配布し、啓発を図る。 (広報・ホームページで募集)</p> <p>④市内の防災リーダーやNPO団体、大学教授などによる、小中学校での防災教育の推進やNPO団体、大学教授、被災体験者などによる、東日本大震災の経験を伝承するための講演会を開催する。</p>	<p>・標高の見える化(標高サイン)を知らない人がいる。電柱や避難所以外にも標高サインを表示し、周知する必要がある。</p> <p>・「市民意識調査」において、10代の回答の78.5%が、防災の備えに対し、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」としている。</p> <p>・目標達成に向け、この10代に対する防災教育が必要である。</p> <p>・東日本大震災から1年半が経過し、他人事になっている市民がいる。東日本大震災の経験や対策などを後世に伝える必要がある。</p>

2. 防犯・防災分科会のあしあと



日程	内容	備考
6月26日(火)	総合計画の目標達成に向けて、「どんな考え方で」、「どんな姿を目指して」、「どんな取り組みを進めてきたのか」を共有しよう!	
8月2日(木)	基本計画(前期)施策評価シートを基に、これまでの取り組みと成果、課題と今後の取り組みの方向性などを検討しました。	
8月20日(月) ※	あいさつは防犯の第1歩ということで、吉浜小学校において、あいさつ検証調査を実施しました。	
8月20日(月)	アイデアを出し合い、提案シート(案)の検討をしました。	
9月5日(水) ※	あいさつ検証調査を実施しました。 高浜小学校、港小学校、高浜中学校	
9月7日(金) ※	あいさつ検証調査を実施しました。 高取小学校、翼小学校、南中学校	
9月11日(火)	アイデアを検討し、最終的な提案シートを策定しました。	

【あいさつ検証調査結果】

※7:30~8:00 各校の校門にて分科会メンバーが調査

学校名	検証児童・生徒数	自主的にあいさつ	声掛け後あいさつ	あいさつしない
A学校	382人	176人(46%)	110人(29%)	96人(25%)
B学校	431人	212人(49%)	134人(31%)	85人(20%)
C学校	476人	371人(78%)	105人(22%)	0人(0%)
D学校	244人	32人(13%)	202人(83%)	10人(4%)
E学校	360人	221人(61%)	50人(14%)	89人(25%)
F学校	310人	50人(16%)	180人(58%)	80人(26%)
G学校	105人	80人(76%)	15人(14%)	10人(10%)
計	2,308人	1,142人(50%)	796人(34%)	370人(16%)



地域福祉分科会からの提言

目標（13） 一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます

1. 目標達成に向けての具体的なアイデア

アイデアの内容 (こんな取り組みを進めたらどう?)	アイデアの理由・背景 (どうしてこの取り組みが必要だと思うのか)
<p>1. 「Newボランティア人」を地域に広めよう!</p> <p>①衣浦定住自立圏 市民活動情報サイト「かりや衣浦つながるねット」において、ボランティアひろばセンターにより「Newボランティア人」のPR活動を行う。</p> <p>②わくわくフェスティバルなどのイベント時に、リーフレットなどを活用したPR活動を行う。</p> <p>③「Newボランティア人」に特化した新たなマイレージ制度（年齢は問わない）を創設する。</p> <p>④ライフステージに応じた「福祉の学び」の機会として学校、まち協などに協力を働きかけ、出前講座を実施する。</p>	<p>昨年度「Newボランティア人」の認知のためアンケートを実施し、一人ひとりが日ごろ心がけていることが地域での支えあいにつながることを認識できた。また、こうした行動が緊急時に反映されることや支えあいの地域づくりにつながる事が分かった。これらの結果から、さらに「Newボランティア人」の認知度を高め、地域の支えあい活動を広めていく必要がある。</p>
<p>2. ボランティアがさらに元気になるようにしよう!</p> <p>①誰もが気軽にボランティア登録できるように、まち協や福祉系事業所などと連携して、まち協の拠点や福祉系事業所などでも登録できる仕組みを構築する。</p> <p>②地域における困りごとなどのニーズを把握し、新たなボランティア活動の場を創出する。</p> <p>③活動者同士が集まって互いの活動を報告し合い、感謝の気持ちを伝えられるような機会を作る。</p>	<p>これからのボランティアひろばセンターの役割は、把握していない埋もれた活動者を掘り起こし、その方たちに、気持ちよく活動していただくことである。そのためには、身近な場所で簡単に登録できる仕組みを構築するとともに、地域で活発に活動できるステージづくりと目に見える形で感謝の気持ちを伝えることが必要である。</p>
<p>3. 高齢者・障がい者への理解とつながりを深めよう!</p> <p>①避難所運営訓練や炊き出し訓練など、障がい者や高齢者も地域の方たちと一緒に参加できる訓練を、関係団体や市民会議メンバーなど幅広い協力を働きかけ実施する。</p> <p>②スポーツを通して、つながりを深めるため、わくわくフェスティバルにおいて、子どもから高齢者まで、障がい者も一緒に楽しめるスポーツ「ボッチャ」の大会を実施する。この大会を契機に、次年度以降、障がい者、高齢者や子どもたちが中心になるスポーツ大会に展開させていく。</p>	<p>東日本大震災の教訓から、障がい者や認知症高齢者が災害時に自然に受け入れられる地域づくりを行っていく必要がある。そのためには、昨年度開催した「防災フォーラム」などの災害時要援護者支援に関する取組を今後もつなげていくことが重要である。また、つながりを深めるために、障がい者、高齢者や子どもたちが一緒に楽しめる新たなイベントを創出する必要がある。</p>

2. 地域福祉分科会のあしあと

日程	内容	備考
6月26日(火)	総合計画の目標達成に向けて、「どんな考え方で」、「どんな姿を目指して」、「どんな取り組みを進めてきたのか」を共有しよう!	
7月30日(月)	点検・確認作業の実施 点検・確認スケジュールの確認、現状把握、課題の抽出、アイデアの検討	
8月21日(火)	点検・確認作業の実施 アイデアの検討 わくわくフェスティバルでの実施内容の検討	
9月 7日(金)	点検・確認作業の実施 提言書シート・模造紙の作成 わくわくフェスティバルで実施する「ボッチャ」をみんなで楽しもう!	



ボッチャを



楽しもう!



健康分科会からの提言

目標（14） 一人ひとりの元気と健康づくりを応援します

1. 目標達成に向けての具体的なアイデア

アイデアの内容 (こんな取り組みを進めたらどう?)	アイデアの理由・背景 (どうしてこの取り組みが必要だと思うのか)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療ネットワークの推進（「病診連携」のシステムと「かかりつけ医」を持つことに関する市民への情報提供と啓発活動の実施） ・ 情報提供の方法：高齢者インフルエンザ通知に啓発チラシを同封 ・ 健康診査等の個人通知に啓発チラシを同封 <p>⇒ 情報発信のチャンスは逃さず使う！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に「かかりつけ医」を持つことにより、身近な「医師」に個別に相談することができる。 ・ 軽微な病気でも大病院志向で受診すると、重症度の高い患者の医療の妨げになることがある。 <p>「かかりつけ医」を持つことで、予防や生活改善、早期からの適切な医療を受けることができる。</p> <p>⇒ 地域医療ネットワークを知ろう！ ⇒ かかりつけ医をもとう！</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「高浜市いきいき健康マイレージ事業」をはじめとした「市民自らの健康管理のきっかけ作りと継続のための仕組みづくり」を行う。 ・ 「高浜市いきいき健康マイレージ事業」の周知に口コミ作戦を行う。 ・ 実施者による効果を広く周知する。 ・ 対象事業の拡大を図る。 ・ 事業の広報掲載を行う。（9月15日号） <p>⇒ 市民の口コミも有効だよ！ ⇒ 効果のあったこと、いいことは広く伝える！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知度が十分とは言えない。 ・ 認知度の向上には、「地域の口コミ」も大きな成果を期待できる。 ・ 事業の成果を周知し、参加者を増加させていくことができる。 <p>対象事業の拡大により「地域における健康づくり」の<きっかけ>と<継続の仕組み>を多く持つことができる。</p> <p>⇒ 「いきいき健康マイレージ」口コミ作戦を始めよう！ ⇒ 「いきいき健康マイレージ」実践者の声を広めよう！</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2次「健康たかはま21」の今後の取り組みは、「市民自らが取り組むこと（自分にできること）」「地域で取り組むこと（地域でできること）」「行政で取り組むこと（行政でできること）」の3本の柱で推進をしていく。 ・ 多様な主体による事業実施のあり方をまずは「高浜市保健医療推進協議会」において検討していく。 <p>⇒ 何事も「きっかけ」が大切！「きっかけ」を見つけて仲間に勧めよう！ ⇒ 仲間作りも「継続」の力だね！</p>	<p>「健康づくりの鍵」となる要素は次のとおり「情報」「知識」「きっかけ」「継続のための仕組み」「仲間」の5つの要素を市民・地域・行政の3者でどのように連携していくかが要である。</p> <p>⇒ 地域の事業に積極的に参加しよう！</p>

2. 健康分科会のあしあと



日程	内容	備考
6月26日(火)	総合計画の目標達成に向けて、「どんな考え方で」、「どんな姿を目指して」、「どんな取り組みを進めてきたのか」を共有しよう!	
7月31日(火)	目標達成に向けてのアイデアを出し合おう。	
8月21日(火)	具体的なアイデアをとりまとめ、メンバーに配布・意見集約	
9月13日(木)	発表に向けての最終確認	

健診や予防接種は
「家族の健康管理」
の第一歩よ。

「いきいき健康マイレージ」の目標目指して自分の
健康づくりを継続中!

「健康づくり」の取り
組みは、地域でも推進
しているよ。

手と手をつなぐ大家族



資料

「高浜市の未来を創る市民会議」

第2期

これまでのあしあと

高浜市の未来を創る市民会議(第2期)これまでのあしあと

<全体会の開催>

回	日程	内容
勉強会	5月11日(金)	高浜市の未来を創る市民会議について ※新メンバー対象
第1回	5月28日(月)	高浜市の未来を創る市民会議 キックオフ! 「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ大家族たかはま」 を目指して、みんなで力を合わせよう! ふたたび
第2回	6月26日(火)	目標達成状況の点検・確認作業をはじめよう!
第3回	9月24日(月)	点検・確認結果を発表しよう!

<分科会>

各分科会からの提言シートの右欄「2.00分科会のあしあと」の通り

